

9月定例会

常任委員会の活動

総務 常任委員会

固定資産台帳

Q 作成された固定資産台帳は、どのように活用していくのか。
 A 新公会計制度の導入にともない整理したもので、公共施設の管理計画などの基礎となる。

総務課

任期の終了後

Q 地域おこし協力隊のうち任期があと半年ほどで切れる隊員もいるが、今後どうか。
 A 起業部門の3人だが、それぞれ忙しく活動している。今後については明確に定まっているわけではないが、アフターフォローもしていく。

企画情報課

徴収の成果

Q 住宅新築資金等貸付金の徴収の成果は。
 A 平成27年度の完済件数は8件となった。また、同年からの取り組みとして、連帯保証人との交渉を強化し、新たな分納誓約も2件契約した。

税務課

来年1月に分譲の申し込みの受付開始



大山口南団地

9月12日から3日間、決算審査のため所管する各課から説明を受けた。
 現地視察としては、温泉館、中山農村環境改善センター、大

山診療所などを訪れ、予算・事業の執行状況を確認した。
 また、大山口駅南の宅地造成予定地で担当者から説明を受けた。

LED照明機器

Q LED照明機器のリースについて、検討の経緯はどうか。
 A リースではないが本庁舎の照明機器はLEDに交換済みで、各支所も交換したいという要望はあった。今回、町内で太陽光発電を行っている事業者から提案され、購入よりメリットがあると判断した。

総務課

調査はいつまで

Q 地籍調査事業の終了予定年は、どのように試算しているか。
 A 平成27年度からは年間3㎢を目標に行い、平成55年までと試算している。広報もしていかなばと考えている。



現地での立会

地籍調査課

小水力発電所

Q 下蚊屋ダムに小水力発電所を建設したが成果は。
 A 県営事業で建設し、売電収入は5,000万円を見込む。維持管理経費のほか、利用者の負担軽減につながる。



農業用水と売電両方に貢献

農林水産課

鳥獣被害

Q 被害の大きいイノシシなどの対策は。
 A 国の100%補助で電気柵・ワイヤーメッシュ柵を12469m設置し、417頭捕獲した。

農林水産課

活用が進んだ遊休地



香取地区の大根畑

所管する各課から平成27年度決算について、説明を受け、審査を行った。
 現地視察は、開山1300年祭を2年後に控えた、大山寺の活性化と空き店舗対策を担当

する(株)さんどうの「にぎわいプロジェクト」進行状況とツアーデスクの課題について確認した。
 また、民間事業者の遊休地を利用した大規模な野菜作りの取り組みを視察した。

夕陽の丘神田の運営

Q 夕陽の丘神田の利用状況は。
 A 入場利用者数は5万4000人と昨年より増えたが、売上額は3200万円が2850万円となった。町が支払う指定管理料は年々減少している。

観光商工課

ナスパルタウン

Q その後の販売状況は。
 A 本年度は2区画販売、全分譲110区画中残りは17区画である。
 Q 90軒以上の集落だ、集会所などの支援は。
 A 用地は提供する考えはあるが、町としては建設しない。

建設課

下水道保全

Q 下水道施設の修繕は高額と聞いているが。
 A タオルや下着1枚流れてくることでポンプが故障し、修理に100万円かかることもある。町民一人ひとりの注意が大切だ。

水道課

経済建設 常任委員会

総務 常任委員会

Q 住宅新築資金等貸付金の徴収の成果は。
 A 平成27年度の完済件数は8件となった。また、同年からの取り組みとして、連帯保証人との交渉を強化し、新たな分納誓約も2件契約した。

税務課

Q 地域おこし協力隊のうち任期があと半年ほどで切れる隊員もいるが、今後どうか。
 A 起業部門の3人だが、それぞれ忙しく活動している。今後については明確に定まっているわけではないが、アフターフォローもしていく。

企画情報課

Q 作成された固定資産台帳は、どのように活用していくのか。
 A 新公会計制度の導入にともない整理したもので、公共施設の管理計画などの基礎となる。

総務課

来年1月に分譲の申し込みの受付開始



大山口南団地

9月12日から3日間、決算審査のため所管する各課から説明を受けた。
 現地視察としては、温泉館、中山農村環境改善センター、大

山診療所などを訪れ、予算・事業の執行状況を確認した。
 また、大山口駅南の宅地造成予定地で担当者から説明を受けた。

LED照明機器

Q LED照明機器のリースについて、検討の経緯はどうか。
 A リースではないが本庁舎の照明機器はLEDに交換済みで、各支所も交換したいという要望はあった。今回、町内で太陽光発電を行っている事業者から提案され、購入よりメリットがあると判断した。

総務課

調査はいつまで

Q 地籍調査事業の終了予定年は、どのように試算しているか。
 A 平成27年度からは年間3㎢を目標に行い、平成55年までと試算している。広報もしていかなばと考えている。



現地での立会

地籍調査課

小水力発電所

Q 下蚊屋ダムに小水力発電所を建設したが成果は。
 A 県営事業で建設し、売電収入は5,000万円を見込む。維持管理経費のほか、利用者の負担軽減につながる。



農業用水と売電両方に貢献

農林水産課

鳥獣被害

Q 被害の大きいイノシシなどの対策は。
 A 国の100%補助で電気柵・ワイヤーメッシュ柵を12469m設置し、417頭捕獲した。

農林水産課

活用が進んだ遊休地



香取地区の大根畑

所管する各課から平成27年度決算について、説明を受け、審査を行った。
 現地視察は、開山1300年祭を2年後に控えた、大山寺の活性化と空き店舗対策を担当

する(株)さんどうの「にぎわいプロジェクト」進行状況とツアーデスクの課題について確認した。
 また、民間事業者の遊休地を利用した大規模な野菜作りの取り組みを視察した。

夕陽の丘神田の運営

Q 夕陽の丘神田の利用状況は。
 A 入場利用者数は5万4000人と昨年より増えたが、売上額は3200万円が2850万円となった。町が支払う指定管理料は年々減少している。

観光商工課

ナスパルタウン

Q その後の販売状況は。
 A 本年度は2区画販売、全分譲110区画中残りは17区画である。
 Q 90軒以上の集落だ、集会所などの支援は。
 A 用地は提供する考えはあるが、町としては建設しない。

建設課

下水道保全

Q 下水道施設の修繕は高額と聞いているが。
 A タオルや下着1枚流れてくることでポンプが故障し、修理に100万円かかることもある。町民一人ひとりの注意が大切だ。

水道課